

第14号

国立市富士見台1-1-201

村田 亘 75-2020

印刷

真美巧芸 37-2536

# 「駿河台」の思い出

酒井 博



母校中央大学は、創立百年を経て校舎も多摩キャンパスをもって最高学府の存在となつたことを心から祝福するものでございます。

名実ともに誇り高きこの現実を回顧するに中央大学は、何としても駿河台時代に確固たる基盤を築いたものであることを銘記すべきであると思

います。私は、昭和十八年に法学部を卒業しましたが駿河台の校舎でお世話になり、そこで学生生活を終わつた者の一人でありました。当時を思うといろいろなことが懐かしく浮かんできます。数ある中でまず校舎が駿河台に在って通学に便利であり、神田は本屋

や洋服屋が軒を並べていたり、学生には何かと都合の良いことが多く、他の学生も集まつて来るといういわゆる学生の街でした。

次に駿河台は、御茶ノ水駅を中心に聖橋やニコライ堂、湯島聖堂、神田明神、日大、明大、専修大等が在り、特にニコライの鐘の音はあまりにも有名でした。

少し足を伸ばして散策すれば湯島天神や上野公園、九段の靖国神社等があつて、疲れた頭を休めるには好都合な場所でもありました。

当時の学制は、学部、予科、専門部の制度となつており、学生は、規律正しく、制服（和服の場合は袴）、制帽を着用しなければ、原則として登校することが出来なかつたのです。

それから駿河台という地理

法律無料相談開く  
(市民まつり)

下半期活動計画決る

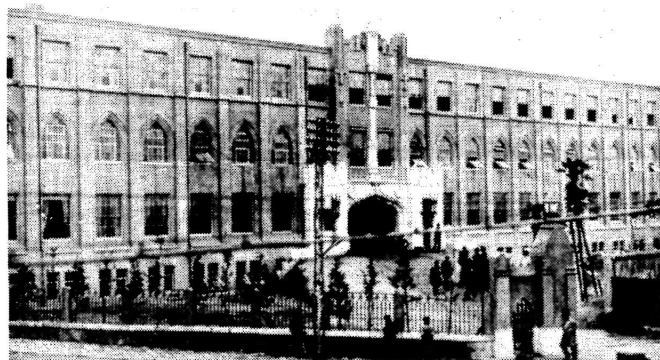
中大パフォーマンス

的好条件もあつて霞ヶ関の官公庁や、丸の内、日本橋等を中心とする各種会社の勤務者が夜間部を利用しての通学者が多かつたのです。特に軍国時代華やかなりし頃は、昼間部の学生は、軍事教練なるものが必須科目となつて相当の時間や労力を費やされ、それに合格しないと卒業が出来ないことになっておりました。それを避けるため就職者でなくともわざわざ夜間部に籍を置いて、昼間は図書館で充分に勉強し、夜間に講義を聴くという学生も多くなりました。高文試験委員で東大等でも有名な学者が、多数夜間部の講師として出向されていたので、夜間部の学生のほうが試験に強かつたようでした。尚駿河台での誇りは、中央の学生は真面目であり、法律に強いという定評でした。それに学費は私立大学として一番安かつたことも驚きの一つでした。それでいて学校当局は、金持ちで他の大学に金を貸していたという噂も駿河台に流れていました。

当時の学長は、本学出身者で司法大臣も勤められたリッパな林頼三郎先生（刑法と刑訴法担当）でした。

全く温厚篤実な方でよく、静かなること林の如し」等と言われて慕われておりました。それから卒業式や入学式、大講演会等は、大講堂で挙行されておりました。その大講堂なるものは、昭和十年に竣工された非常に気品の高いもので、駿河台では、素晴らしい建物の一つでありました。

まだ随想に限りはありませんが、紙面の制限により以上の雑文をもって擱筆します。(当支部顧問)



みんなで歌おう  
歩こう 大学通り



今年も市民まつりに参加し、例年通り法律無料相談とバザーを行ないます。

法律相談コーナーでは毎年多数の方が相談に來られ、担当の諸先生も今からハリキっておられます。

- 法律弁護士 石川正明先生
- 弁護士 溝口敬人先生
- 税務税理士 宍戸勇之先生
- 不動産コンサルタント 久保田利雄先生

バザーコーナーでは、昨年は約十六万円の売り上げがあり、その内一部を社会福祉団体へ寄付させて頂きました。皆様方のご協力には感謝でいっぱいです。と共に、今年もまた、ご協力をお願い致します。ご連絡下されば、お預かりに伺います。(山崎72-三九四八・風間76-二五九一)

今年十一月三日(月)がまつり実施日で、二日(日)が準備日となります。三日は朝八時半から大学通り西側緑地帯でテント設置など準備をします。時間の有る方は是非参加をお願いします。

# 百周年記念映画と総会

## 国立支部

国立名物のさくら祭りが終わって間もない四月二十日(日)第九回定時総会は国立駅前商協ビルで行われた。

総会に先立ち、創立百周年記念映画「母校よ永遠なれ」が監督の岡本明久氏を迎えて上映され、母校の百年の重みを感じしみと味わわれた。

総会には阿部事務局長をはじめ、三多摩地区連絡協議会の関八王子支部長、五十嵐立川支部長、内田日野支部長が来賓としてご列席になり、能味常任理事の司会で次第通り進められた。

井上副支部長の開会の辞に続いて、村田支部長は、伝統ある校風のもとに育てられた学員は、国際人として飛躍するために明朗かつたつてあつてほしい、と挨拶された。

ついで、学員会阿部事務局長はお馴染みのこやかな顔で、第二世紀を開く母校の頼もしい現況と学員の多彩な活動振りについて報告され、大きな拍手が起った。

谷本理事長からの祝電が披露された後、村田支部長が議長となり、議事に入った。

丸本幹事長が、相談役及び準会員制度の設置などの規約改正案、母校百周年記念式典の報告と組織、広報、厚生、事業各部の活動報告、堀田会



中央大学 学員会 国立支部 定時総会 S61.4.20

計から決算報告、実戸会計監査の会計監査報告があり、一括上程されて、異議なく承認された。引き続き「国立市民まつり」に参加し、法律、税務、不動産相談を行う他、数々の事業計画案及び予算案が審議され、了承された。

山村常任理事が閉会の辞を述べて小休の後風間副幹事長の司会で懇親会に移った。

来賓の方々から丁寧な祝辞を頂いた後、名誉教授中西旭

顧問の乾杯で宴に入り、宴も酣となった頃、谷国立市長が馳せ参じ、市政の現状を報告し、市民本位の市政を推進する決意表明があった。井上正博市議も自己紹介の上挨拶。紅一点の平本聖子さんの笑顔は会場を一層なごやかに盛り上げて、盃を重ね歓談し、時の経つのも忘れて、名残りは尽きなかったが、最後に肩を組んで校歌を斉唱し、山崎常任理事の発声で万才を三唱して幕を閉じた。

(能味寿記)

## 役員改選

### 評議員他

学校法人中央大学及び学員会では任期満了に伴う役員改選がありました。国立白門会からは、日頃の活動が評価されて、顧問の市橋先生は再任ですが、村田支部長も初めて学員会幹事に選任されました。

市橋千鶴子 (再任) 四日任期四年

市橋千鶴子 (再任) 四日任期四年

市橋千鶴子 (再任) 四日任期四年

市橋千鶴子 (再任) 四日任期四年

市橋千鶴子 (再任) 四日任期四年

市橋千鶴子 (再任) 四日任期四年

市橋千鶴子 (再任) 四日任期四年

市橋千鶴子 (再任) 四日任期四年

市橋千鶴子 (再任) 四日任期四年

市橋千鶴子 (再任) 四日任期四年

市橋千鶴子 (再任) 四日任期四年

市橋千鶴子 (再任) 四日任期四年

市橋千鶴子 (再任) 四日任期四年

市橋千鶴子 (再任) 四日任期四年

市橋千鶴子 (再任) 四日任期四年

市橋千鶴子 (再任) 四日任期四年

市橋千鶴子 (再任) 四日任期四年

市橋千鶴子 (再任) 四日任期四年

市橋千鶴子 (再任) 四日任期四年

市橋千鶴子 (再任) 四日任期四年

市橋千鶴子 (再任) 四日任期四年

市橋千鶴子 (再任) 四日任期四年

市橋千鶴子 (再任) 四日任期四年

市橋千鶴子 (再任) 四日任期四年

市橋千鶴子 (再任) 四日任期四年

市橋千鶴子 (再任) 四日任期四年

市橋千鶴子 (再任) 四日任期四年

## 観桜会

### 多摩地区学員会支部連合会

今年の国立桜祭りは、例年になく美しく咲いた満開の好期に催されたが、この日多摩地区の学員会支部連合会は多摩校舎で観桜会を開催した。

国立支部からは、桜祭りの関係で村田・井上・福谷・丸本氏らに限られたが、家族同伴の方もあって会場は一杯になった。

開会のことばを村田支部長、お祝いのことばを大学の桃井理事が述べ、参加者は女性歌手のうたう歌に調子を合わせ、また他支部と挨拶を交わすなど、会は賑やかに進化した。

窓越しに見える桜はあでやかで、ビールの杯を重ねさせたが、帰途校門へと下る丘で見た夕暮時の若桜が、ぼんぼりに次第に映えていく様は、春宵ならではの風情ひとしおなるものがあつた。若桜の事故、来年は更にまた一段と見事なるものと思われる。

快で、千五百メートルでは逆に一艇身の差をつけ、最後まで一糸乱れぬ漕ぎ方で見事四連覇を飾った。

史上初の四連覇は達成されたが、中大漕艇部が取り組む課題は多い。積極的に世界に目を向け、日本の漕艇界の索引車となり、ソウル五輪では中大健児の心意気を示してもらいたい。(学員時報9・25より)

## 中大エイト 四連覇

昭和六一年のボート日本一を決める選手権が、八月二日から二四日まで、戸田オリピックコース(二千メートル)で行なわれた。二三日に行なわれた第十三回全日本大学選手権において中大エイトクルーは史上初の四連覇を成しとげた。

決勝は、優勝回数最多を誇る東大、伝統の早・慶、昭和二九年優勝の北大と、本学クルーで争われた。

レースは前半から激しいものとなり、千メートルのラップは慶応がとり、本学との争いとなる。中大のリズムは軽

# 中大。パワービジネス社会でも活躍!

「週刊ダイヤモンド」が、この二月に独自調査した工場企業一八八社の部長、課長ら一三万五八一人のミドルの出身大学は、早稲田大学九三〇七人、慶応大学七五二九人、東京大学六六七一人、京都大学四四四五人、中央大学四一一人という結果が出た。これは国立も含めたランキングでは第五位、そして私学では第三位の座を中央大学が占めていることになる。従来中央大学といえ、法科の中央として法界での活躍は有名すぎる程であるが、今日の中央大学を語る上で、前記の調査結果はビジネス社会でも着々と地歩を築きつつある中央大学の姿を示している。

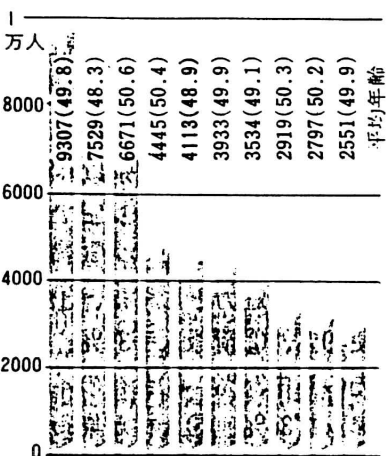
創立以来一〇一年、この間中央大学は飛躍的なスケールアップとともに、総合大学と

しての体制を整えた。法、経済、商、理工、文の五学部、大学院五研究科、七研究所、三付属高校を擁し、卒業生三五万人のパワーを発揮している。

ビジネス社会第三位の実力も、中央大学が総合大学として示すもののひとつだ。

中央大学は、昭和五三年、「教学施設充実計画」の一環として、文科系四学部を神田駿河台から多摩校舎へ移転した。すでに移転して八年余。駿河台時代の有形無形の伝統と財産を見事に受け継ぎ、さらにこの多摩のキャンパスからビジネス社会へという新ルートも確立された。中大パワーのダッシュにも一段とはずみがつくことが期待されているのはいうまでもない。(週刊ダイヤモンドより)

## ■私学では3番手の中大勢力



(グラフは194大学 上場企業ミドル調査 週刊ダイヤモンド2月22日号より)

# 活動

## 厚生部から 事業部

国立白門会では下半期、次の企画を実施いたします。

万障お繰り合わせてご出席をお願いいたします。

一、秋の甲斐路

十月一日 四頁記事参照

二、市民まつり

十一月三日 一頁記事参照

三、囲碁大会

会長杯争奪囲碁大会を開催いたします。前回は荒木氏が優勝しましたが、過去二度優勝した棋士はいません。荒木氏が初の連続制覇を達成するか、それとも新チャンピオンが誕生するか、興味のつきぬところです。

日時 十一月一日(日) 午前十時開場(練習) 午後一時半試合開始  
会場 ダイヤパレス集会所 (下図参照)

会費 千円(賞品、お茶代) 連絡先 山崎 武 72-3948 小林 治 77-2217

四、あれこれ会 下段参照 十一月九日

五、新年会 六〇年度は四十名近い出席で盛会でした。今回もより一層の充実を計るためにも皆様のご協力をお願いします。

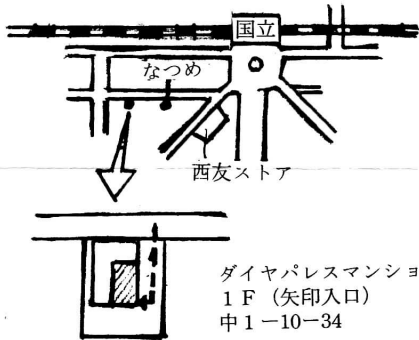
日時 六一年一月二四日(土)

午後五時半から 場所 信濃路 詳細は山崎まで 七二一三九四八

## 第4回あれこれ会

第三回あれこれ考える会は六月一日に、多数の方が出席され教育・居住環境・女性観など囲炉裏端会議風に開かれました。今秋も市民まつりの後に開催いたします。お時間の許す方はご出席を。

十一月九日(日) 午後二時から五時まで、ダイヤパレス集会所にて。参加費無料 連絡先 久保田利雄 76-2244



会費納入のお願い 会費未納の方は、年会費二千円を納入して下さい。 連絡先 堀田 勲 76-0995

# Wine & Dinner

あなたのひとときを

## イタリアンレストラン

OPEN 11:30AM~10:00PM

中1-9-4 大学通り白十字2F

TEL. 76-1401



緑ゆたかな環境の保全をめざして

緑地設計施工管理  
環境衛生販売請負  
法面種子吹付工事

## 関東薬品造園株式会社

国立市谷保6660  
Tel (75) 4101(代)

# 春の秩父路を探ねる

五月十八日(日)、朝七時十五分に出発の貸切りバスは、山崎厚生部長の事前偵察よろしく順調なドライブだった。郊外レストランの建て混んでいる所沢を抜け、関越高速道の料金所には八時着だが、やがて前方遠くに秩父嶺が見えてきた。高坂サービステアで一服。花園インターから荒川を越え料金所をすぎると寄居町だ。「秩父まで30km」とある。九時になった。わが小泉レンタバスは、二十分後長瀬駅前郵便局前を走り無事上長瀬駅下の川原近くに到着。中津川下りの遊覧船を見かけたり、ゴツゴツした岩に登ってみたりの小休止も楽しい。一同記念写真に納まってから十時の発車。熱い缶コーヒーがうまい。国道140線

を和銅鉱泉、葡萄園、イチゴ園とかける。秩父セメントの大きな事業所近くのグラウンドでは市内少年育成バレー大会も開かれていた。バスは緑深い溪流沿いにダムを目指し、右に秩父湖を見て十一時半、三峯神社下に停まる。村田会長夫妻はじめ皆さんが思い思いの祈りを捧げて、その社殿の壮大さにびっくりされていった。こんな山奥に信者多数を泊める建物も立派に整っているのに改めて感心。四十分程ゆっくり散策をしてバスへ戻る。日室鉱山の工場とか奥秩父温泉郷の案内板を窓外に、青葉若葉の森の美しさを賞でつつ秩父町中へとバスは復路につく。昼食は秩父電鉄ターミナルの2階レストラン・サンシルクでの幕の内定食を味

わった。ビールの乾杯が婦人方にも快かったようだ。地酒は、武甲正宗。一行は、秩父神社に参拝したり、まつり会館のだしものをのぞいたり、土産物を買ひ込んだりして、バスを待つ。午後二時四十分発の車内で「この次はぜひ夜祭りを見にきたい」と、秩父路の風情は、本当に皆さんの胸の底までしみこんだようだ。帰路は正丸峠から飯能に出た。五時私たち夫婦は国立北二丁目下車。窓辺で手を振って下さるお一人おひとりが、名残り惜しんで下さるのがうれしかった。(N)

## 恒例の納涼懇親会は 一水園で

広報部 平本 聖子

七月十九日(土) 日中は三二、七度という真夏日の夕べ、野猿街道ぞいの一水園の広間で久しぶりに会員の皆さんが顔をそろえた。谷市長も山川秘書と共に御出席になられ、早速きれいに造園された庭の池をバックに記念撮影を行った。午後六時過ぎ、厚生部長の山崎さんの挨拶に続いて、村田支部長のお話。次に、このほどの学員会で幹事に選任された市橋先生(留任)、村田支部長(新任)のお二人に拍手が送られた。谷市長からは、来年十一月三日、市民待望の芸術小ホール(仮名)完成予定をはじめ、市制二十周年を迎えるための諸行事推進に大忙しの近況などが述べられた。酒井先生の音頭で乾杯

楽しい宴も終わりに近づき、全員で校歌を斉唱し、我が会の万歳を三唱して、幕を引いたのは九時半に近かった。出席者(順不同、敬称略) 谷清、市橋千鶴子、酒井博村田亘、福谷美、荒木繁幸能味寿哉、山村鶴音、井上正博、山崎武、山川昌一、堀田勲、中島順敬、小林治風間勝利、川村俊介、新倉良平、平本聖子。

## 秋の見学会10月18日(土) 霧ヶ峰・白樺湖・蓼科湖

コース

国立(中央道)→甲府→諏訪湖(松亀味噌工場見学)・諏訪神社(下)→霧ヶ峰→白樺湖(ビーナスライン)→蓼科湖→茅野IC→国立

会費 3,000円(車代・高速代)

昼食は各自負担

午前7時出発予定

ぶどう狩りもありますので、ふるってご参加下さい。10月14日までに下記へ連絡下さい。

連絡先 山崎 武 72-3948  
小林 治



コイの活作りが供される頃、自己紹介が始まった。市橋先生や井上市議のお話は、盛んな拍手をよんだ。皆さんは自由に席をとり、杯を酌み交しながらの談笑となり、そのにぎやかさに、せつかくのカラオケの声もよく通らないほどだった。男性の酒豪山村さんには、フグのひれ酒が好評のようで、上々の御機嫌であった。ここ一水園事業部長の風間副幹事長のお計らいでおいしいお料理が次々と運ばれた。

